

令和4年度 飯塚市老人クラブ連合会事業報告

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の流行は止まらず、福岡県も変異株ウイルスの感染の波に襲われました。そのような中でも飯塚市老人クラブ連合会の活動は、感染対策を十分に講じ多くの事業を実施しました。

会長、副会長を中心とする役員会は、毎月定期的に行われ5支部間の連絡調整、事業の進捗状況の把握を図りました。

コロナ禍のため2年間書面議決としていた総会は三年ぶりに庄内交流センターで開催することができました。総会では決算、予算、役員人事などの議案が承認されました。

県老連主催の研修会関係では、7月の「単位クラブ新任会長研修会」「広報紙づくり研修会」、10月の「女性リーダー研修会」、11月の「高齢者相互支援リーダー研修会」、12月の「健康を進める運動」は十分な感染予防対策を講じて実施され、市老連から多くの会員が参加し、会員の知識と技術の向上に努めました。

健康づくり事業の一環のスポーツ活動は、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いた時期であり、市老連が主催するグラウンド・ゴルフ、ペタンク、ゲートボールの三大スポーツ大会を感染予防対策を講じたうえで実施することができました。また、福岡県及び筑豊地区の三大スポーツ大会は9月、10月に県内各所で実施され市老連の会員が各種目で活躍をしました。

また、近年盛んになってきたペタンク競技の一層の普及を図るため、県老連が3年前から計画しながらコロナ禍のため延期になっていたペタンク講習会が2月に嘉麻市で開催され、本会からも健康部員が参加し正しいルールや技能の習得に努めました。

例年1月に実施していた「新春カラオケ大会」は、会場のコスモスコモンが改修工事のため令和5年5月まで使用できないため令和4年度は止むを得ず中止しました。

高齢者向け体力測定事業は、高齢者ひとり一人が自分の体力を知って、運動の習慣を身につけ、健康づくりに役立てるもので全支部とも感染予防を講じて実施しています。体力測定会は開催回数15回、参加者255人になっています。また、栄養管理の知識の向上と食生活について学ぶ高齢者料理教室は開催回数18回、参加者254人となっています。

老人クラブが取り組む高齢者の地域支え合い事業として、高齢者ネットワーク推進事業は、愛の一声運動、友愛訪問、安否確認を中心に、高齢者が相互に助け合い支え合う支援活動として各クラブにおいて広く取り組まれています。コロナウイルス感染予防のため訪問の方法や時期等感染予防に考慮して活動しました。57クラブの185人の支援活動員が、536名の方を延べ 6, 355回訪問しました。

奉仕活動では、老人クラブが9月に全国的に展開している「社会奉仕の日」を中心に奉仕活動を行いました。地域の自治会や子ども会などの団体の住民と協力しながら、公共的施設の清掃などの美化活動や資源ゴミの回収活動、また4年ぶりに開催されたアイラブ遠賀川への参加などに取り組みました。令和4年度を通しての活動実績は参加クラブ数67クラブ、参加人数2, 885人となっています。

高齢者福祉に貢献した功績、老人クラブの発展に寄与した功績を顕彰して表彰式が福岡県庁で執り行われ、県高齢者福祉功労者知事表彰1名、県老人クラブ連合会会長表彰6名の会員が表彰されました。また、令和4年は県老連創立60周年にあたり、これを記念して多年にわたり老人クラブの育成発展のため努められた6名の会員がその功績を認められ特別に表彰されました。

令和4年度は7月、11月、3月を会員増強運動月間として取り組み16クラブで会員増となりましたが、高齢化や後継者不足などによりクラブの解散・休会などがあり令和5年4月現在、単位クラブ数83クラブ、会員数2, 629人となっています。